

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

[illegible]

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】南信州いいむす21を取得する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で南信州いいむす21のマネジメントレビューを公表する。												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	県内の電力会社と契約してクリーン電力を併用した電力の供給を受けている。 太陽光発電システムを導入し再生可能エネルギーの供給を行っている。							7.2						13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等のプランテーションにより生産される原材料等）の利用を推進する。												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の服務規律の章において、汚職等の不正・不法行為の禁止を明記し社内に周知徹底している。																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の服務規律の章において、不正競争行為等の不正・不法行為の禁止を明記し社内に周知徹底している。																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】特許や商標等の知的財産権を取得した際には、その保護や管理を行う。								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護規程を定めて社内における情報管理のルールを周知徹底している。 労働者の健康情報等の取り扱い規程を作成し管理している。 JAPHIC認証を取得済。																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	原材料サプライチェーンを把握している。																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先様と人権侵害防止等の取組に関する確認活動を行う。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	FSSC22000マネジメントシステムに基づく仕組みを構築している。			3.9									12.4					
29	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	FSSC22001マネジメントシステムに基づく仕組みを構築している。									9								
30	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握を行う。						6						12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】企業理念（食肉を通じて地域に笑顔を拡げ、活力を生み、社会に貢献する）に沿った製品やサービスの開発に取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	社会 地域 貢献	☐ 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	食肉流通における「地産地消」の観点から地域へ与える影響を考慮し、地域への貢献度が向上するよう改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
33		☐ 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	次代を担う人材との交流活動（お仕事キッズタウン等）に参加している。 認定NPOやボランティア団体等へ継続的に寄付活動を行っている。				4							11			14	15		17
34		☐ 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地産地消として地元ブランドの「くりん豚」「千代幻豚」の販売を行っている。 地産外商として中京圏へ長野県産の畜産物の販売を行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織 体制	☐ 【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	クレドカードを作成して全社員に配布し企業理念や行動指針の周知徹底を行っている。								8	9								17
36		☐ 【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則や社内規程の整備、社内研修活動を通じて法令遵守の重要性について周知徹底を図っている。																16	
37		☐ 【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】取締役、事業部長を中心とした社内体制を整備し社会や環境に及ぼす影響への対応力を強化する																16	
38		☐ 【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜適切にステークホルダーとの対話を行っている。 クレーム報告書によりステークホルダーへ与える影響を把握し適切に対応するよう努めている。																16	17
39		☐ 【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	FSSC22000に基づくリスクマネジメントを実施している。 【予定】内部統制システムを構築し、リスクの洗い出しと評価を行い適切な対策を講じる。																16	
40		☐ 【社会的責任】 ・ C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR管理者を任命し、方針の策定とマネジメントプロセスを整備する。																16	
41		☐ 【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP計画を作成する。									9		11		13 13.1			16	
42		☐ 【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業承継は既に行われている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林C02吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）